

---

# チーズケーキ

二葉一葉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

チーズケーキ

### 【Nコード】

N8737I

### 【作者名】

二葉一葉

### 【あらすじ】

チーズケーキはレアかベイクドか。あたしたちには悩ましい問題。きつとずっと続く、大問題。

チーズケーキは、レアかベイクドか。

あたしはレア。アイツはベイクドだった。

けんかの原因だ。

有名なパティシエのケーキショップの前で、あたしたちはけんかした。と、言っても、痴話げんかをしてますわよ、あそこ。って周りから見られるほど派手なけんかじゃない。

アイツは怒ると喋らなくなり、あたしは怒ると声が小さく低くなって口数が減る。

しかし、喋らない相手に怒るほどその怒りが増すことはない。

「お決まりですか？」と、こっちの状況に気づいてるのか知らないが、店員が営業スマイルで聞いてきた。

相手が喋らないからといってここであたしの我を通すのもフェアじゃない。

あたしは低く小さい声で、「決まらないのでやめます。」と極めて平静を保って店員に告げる。

よく友人たちからは、「青火のようだ」と言われる。一見、そこに火がないように見えて、赤々と燃える炎よりも熱く燃えている青火。

あたしとアイツは黙ったまま電車に乗り込む。

行き先はもう決まっている。

家に帰るのだ。

あたしは空いてる席に座って、アイツはドア付近に立つ。

あたしの右も左も空いているというのに。

たった、一駅。

会話もなければ視線もあわずに、電車を降りて、改札を出る。

人は疎ら。

前を黙って歩いてくアイツがふらりと横にそれて行くのを、あたしは黙って眺めてた。

その先に、全国チェーンのケーキ屋さんが、『本日20%OFF』とポスターが貼ってあった。

「レアチーズケーキとバイクドチーズケーキを1つづつ。」

パティシエのケーキより安くて、大きなチーズケーキは、あたしたちのお気に入り。

「このケーキ、好きだろ？」

聞くまでも、ない。

あたしがレアが好きなのも、アイツがバイクドが好きなのも、聞くまでもないこと。

青火が小さく静かに消えていくのがわかった。

仲直りは、チーズケーキで。

「好きだよ。」

差し出された手を握って、あたしたちの家に帰る。

さてと。

チーズケーキに、コーヒーか紅茶か。

なんとなく、譲ってあげてもいいかな、と思う。

今日だけ、ね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8737i/>

---

チーズケーキ

2010年10月15日17時23分発行